

# ご入学、ご進級

## おめでとうございませす



この度は、ご入学、ご進級、おめでとうございます。  
桜が一足早くお祝いをしてくれた今年の新学期、新たな一步を歩まれましたことを心よりお慶び申し上げます。昨年までとは違い、新型コロナウイルスが流行する以前の様式で式典が開催され、撮った写真は、お子さまの期待と不安が入り混じった姿が収められていることと存じます。

入学した途端、子どもたちは新しいことにチャレンジしていきます。ついこの前まで抱っこをせがんでいたお子さまを、新しい世界に旅立たせることに不安に感じられることかと存じます。でも、子どもたちは迷うことも気にせず、悪邪気に前へ前へと進んでいきます。もしかすると、それは、大人がいつしか忘れた「根拠のない自信」なのかもしれません。親の顔色を気にせず、自分の世界をつくっていく姿を見ると、手を引つ張って歩いていた頃とは違うたくましさを感じるでしょう。

一年生のときはピカピカのランドセル、お子さまの成長とともに傷が付き、汚れ、シワができていきます。それは、「学校」という小さな社会に飛び出したお子さまの姿そのものです。時には傷つき、抗い、打ちのめされる。でも、その度に子どもなりに悩み、考え、答えを出していきます。どうしても答えがでないときは、きつと後ろを振り返ります。そこには、今まで同様、陰から見守り、助けてくれるお父さん、お母さんの姿が見えています。その子どもにとっかけてかけがえない「安心感」、子どもたちが前に進める根拠はすっかりそこにあるのです。

そんな子どもたちも、年を重ねると後ろを見なくなり。親としては寂しいかもしれませんが、自分の分身であるランドセルを、親がどのような気持ちで買ってくれたかを知り、自立しようと歩み始めるからではないでしょうか。

そんな「いつの日か」を楽しみに、子どもたちが振り返った時に陰からひよっこり顔を出しているもうひとりの「守り神」になれるよう、私たちはこれからも努めて参ります。

末筆ながら、時節柄、皆様におかれましてはご自愛くださいませすようお願い申し上げます。

令和五年 四月

アイクルキッズアカデミー

代表 濱畑 雄一郎